

平成28年度 史料でたどる「おおさか」講演会

大阪の新聞作家 渡辺霞亭

講師：相良真理子氏（大阪市史料調査会調査員）

このたび最新号『大阪の歴史』第85号が刊行されることになりましたので、掲載論文の筆者である相良真理子氏による講演会を開催いたします。

本講演では、『大阪朝日新聞』を拠点として明治から大正期に活躍したジャーナリスト・作家の渡辺霞亭（1864～1926）を取り上げ、その生涯と作品についてご紹介します。

日時：平成29年2月4日（土）

14:00～16:00（開場 13:30）

会場：大阪市立中央図書館 5階 大会議室

定員：300名（当日先着順）

参加費：無料



渡辺霞亭肖像

同時開催

〈企画展示〉大阪の川と船と人びと

平成29年1月20日（金）～3月31日（金） 大阪市立中央図書館3階エレベータ前

最新の『大阪の歴史』第85号『大阪市史史料』第83輯に関連し、近世の淀川・大和川、大阪市中の堀川を取り上げます。河川の支配や川船の権益に関する古文書や図面、水辺の景観を描いた和本など、バラエティに富んだ史料を展示します。

お問い合わせ

大阪市立中央図書館

〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 電話 06-6539-3302

<http://www.oml.city.osaka.lg.jp/>

共催：大阪市立中央図書館 大阪市史料調査会



地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線西長堀駅7号出口すぐ

関連刊行物

『大阪市史史料』第83輯

「享保期新大和川支配替関係史料」
1800円

享保3年(1718)7月、畿内河川支配の管轄範囲が変更され、新旧大和川筋・石川筋の管轄は、大坂町奉行から堺奉行に移りました。

本書は、新たに河川支配を担うことになった堺奉行による職務マニュアル2点を収めています。享保期幕府中央が相次いで実施した畿内河川支配に関する政策と、それに伴う堺奉行ら畿内幕府役人の動向がわかる史料集です。



『大阪の歴史』第79号

700円

- ・相良真理子
「大正期の道頓堀五座と菊池幽芳」
- ・天野忠幸・生駒孝臣
「『松雲公採集遺編類纂』所収「渡辺文書」について」
- ・岡本澄
「OSK日本歌劇団の九〇年」他

近日刊行

『大阪の歴史』第85号

700円

- ・相良真理子
「大阪の新聞作家渡辺霞亭—生涯と思想—」
- ・井戸田史子
「近世大坂における上荷船・茶船の浜—かせ場の構造—堀江地域を中心として—」
- ・古川武志
【史料紹介】「『大阪経済雑誌』にみる明治期中之島風景」他

—お求め方法—

『大阪市史史料』・『大阪の歴史』は、大阪市史料調査会で窓口・通信販売を行っています。詳しくは大阪市史料調査会(市立中央図書館3階市史編纂所内・電話06-6539-3333)までお問い合わせ下さい。

・本体価格 : 『大阪市史史料』1,800円(送料実費)

『大阪の歴史』700円(送料実費)

・取扱書店 : 旭屋書店(MIO店)、ジュンク堂書店(大阪本店・難波店)

※書店では消費税が加算されます。

・郵便振替 : 青色振替用紙の通信欄に号数記入

番号 00930-9-82241

名義 大阪市史料調査会